

令和3年3月23日

報道関係者各位

株式会社 中西製作所

姫路市の「スマート市民農園事業」に賛同 企業版ふるさと納税を行いました

株式会社中西製作所（本社：大阪府生野区、代表取締役社長：中西一真）は、姫路市の地方創生推進交付金事業「スマート市民農園×STEAM教育による地域に根づくアグリテックの担い手育成事業」（以下「スマート市民農園事業」）に賛同し、企業版ふるさと納税を活用し寄付をさせていただきました。

令和3年3月22日（月）姫路市役所にて、寄付受領式が実施されましたのでお知らせします。

【寄付受領式の様子】



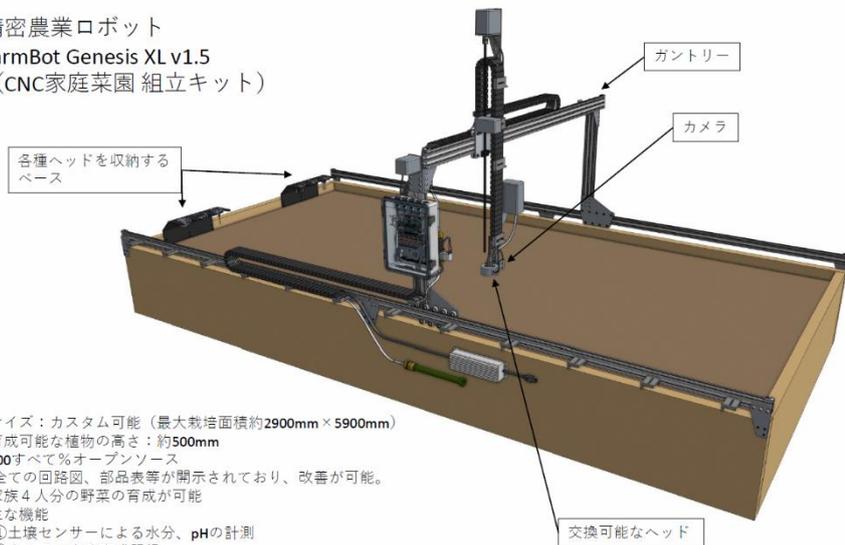
（左：姫路市長 清元秀泰 様 右：中西製作所 代表取締役社長 中西一真）

「スマート市民農園事業」は、姫路市が進めているグローバルな視点を持った農業分野のICT人材育成を目指す内閣府の地方創生推進交付金事業です。このプロジェクトでは遠隔操作で農作業ができるロボット「ファームボット」を使用し、下記3つの事業を実施します。

- ①農業用ロボットを使用して、障碍児・者に遠隔で農業体験を提供する「スマート市民農園事業」
- ②小学生の親子等にIT技術を組み合わせた新たな農業体験を提供する「農業版STEAM教育事業」
- ③全国の学生に農業用ロボットを改善・改良するアイデア等を募集し、企業とのマッチングやスタートアップ創出につなげる「アグリテック甲子園事業」。

当事業で導入された農業用ロボット「ファームボット (FarmBot)」は、遠隔での操作が可能であり、離れた場所から種まきや水やり、雑草の除去などを行うことが可能です。ファームボットの活用により作物の栽培に必要な水の量やエネルギー、輸送、労働時間を減らし、農業の結果生じる環境への悪影響も軽減することが可能です。

精密農業ロボット
FarmBot Genesis XL v1.5
(CNC家庭菜園 組立キット)



- 1.サイズ：カスタム可能（最大栽培面積約2900mm×5900mm）
- 2.育成可能な植物の高さ：約500mm
- 3.100%すべてオープンソース
全ての回路図、部品表等が開示されており、改善が可能。
- 4.家族4人分の野菜の育成が可能
- 5.主な機能
 - ①土壌センサーによる水分、pHの計測
 - ②カメラによる育成記録
 - ③カメラと雑草除去ツールによる雑草の除去
 - ④真空ポンプとシードピンを用いた種まき
 - ⑤水撒き
 - ⑥育成ゲームのようなグラフィカルな画面でのプランター内の育成マップ/育成計画の作成



(姫路市産業局農政総務課作成資料より引用)

初年度である今年度は、「スマート市民農園」×「農業版 STEAM 教育」の取組みとして、姫路市立書写養護学校にファームボットを設置し、中学部の生徒にファームボットを利用した遠隔操作による野菜の栽培などの学習を提供することで、農福連携や農業分野での STEAM 教育の実証を進めています。

また今後スマート市民農園事業をさらに改良・改善する為に「あらゆる人が植物を栽培するのに役立つ技術を創造する」ことをテーマとしたアイデアソンを令和3年8月にアグリテック甲子園を令和4年1月に開催する予定です。



※姫路市スマート市民農園事業の紹介動画 ～姫路市立書写養護学校での実証～

<https://www.youtube.com/watch?v=oJB-bpGMTpk>



中西製作所は SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取り組みを積極的に行っています。姫路市のスマート市民農園事業を支援させて頂くことで、姫路市の産業と技術革新の基盤となる人材育成への協力、今後の積極的な地域交流と産業発展を目指しています。

●株式会社中西製作所について (<http://www.nakanishi.co.jp>)

1946年に学校給食用のアルマイト食器の販売を目的に個人創業。その後食器洗浄機を開発し1958年より法人化。以降学校給食への厨房機器を中心に複雑な厨房機器をシステム化したフレキシブルな提案を得意とする。マクドナルドをはじめとした外食チェーン各社へも厨房機器を提供している。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社中西製作所 広報担当 原田
TEL: 03-5541-6333 FAX: 03-5541-0155
MAIL: r-harada@nakanishi-mfg.com

<スマート市民農園事業に関するお問い合わせ先>

姫路市農政総務 柿本・藤井
TEL: 079-221-2476 FAX: 079-221-2996
MAIL: noseisomu@city.himeji.lg.jp

以上